

あなたは危険だと証明されない限り安全だと信じますか？ それとも、データや電磁波汚染対策の先進国の科学者を信じますか？

電磁波はガン発生率を高める

電磁波の有害性については、米国ジョーンズ・ホプキンス大学のジュヌビエーブ・マタノスキー博士が「電磁波は人体のDNA等の遺伝子を構成する核酸に障害を与え、正常な細胞分裂を狂わせると同時に、ガン細胞の成長を活性化し、ガン発生率を高める」と警告しています。

また、ダニエル・ライル博士も同様に、「体外から侵入する細菌やウィルスを排除する“免疫”に、とりわけその中心的役割を担う『ヘルパーT細胞』の持つ免疫の働きが低周波電磁波に曝されると低下してしまい、感染症やガン等に対する抵抗力が低下してしまう」と主張しています。

寿命を延ばす“メラトニン”が減少する

有害電磁波がガンの発生率を高めるだけでなく、寿命そのものを縮めるという研究結果も出ています。ガンを防ぎ、エイズに対する抵抗力を高め、細胞の損傷を防ぎ、血圧を下げ、心臓病を予防し、寿命を延ばす“奇跡のホルモン”といわれている「メラトニン」の分泌量が、電磁波の影響を受けて減少するというものです。

メラトニンの分泌量が減少すると、細胞内のカルシウムイオン放出が強化され、そのため細胞内のグルタチオン過酸化酵素が消失します。そうすると、活性酸素の攻撃を直接受け、増加した過酸化脂質が遺伝子のDNAを損傷して老化を促し、結果として寿命を縮めてしまうのです。

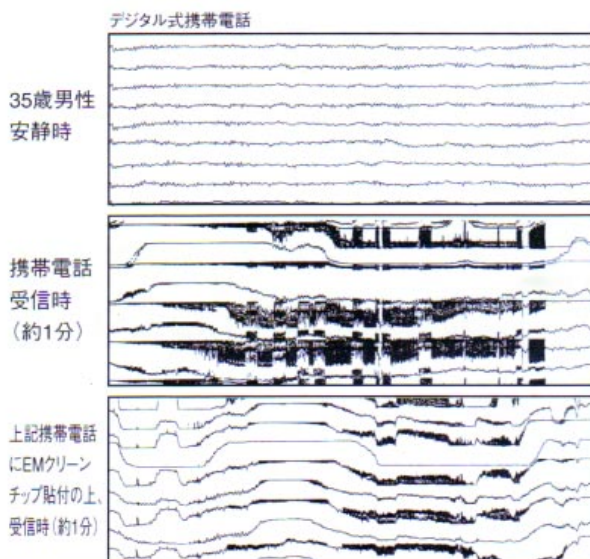
その他の症状

脳腫瘍・小児ガン・白血病・悪性腫瘍・染色体異常・流産・死産・障害児出産・糖尿病・大腸ポリープ・白内障・先天性尿道異常神経障害・睡眠障害・心臓障害・慢性疲労症候群・電磁波過敏症候群。電磁波との因果関係を裏付ける研究が世界各地で多数発表されています。

■脳波測定について（チップ使用の効果）

安静時と携帯電話使用時の脳波の乱れは、脳波の計測結果から明確に差異が見てとれます。

EMグリーンチップ使用時との差異も明確で、使用による優位性を示していると考えられます。



●LFAについて

LFA（ライフ・フィールド・アナライザー）とは、極めて微細な磁場として表される生体および物質の情報（一般に波動と呼ばれている）を測定する電子計測器のことです。主に水分の持つ電磁場情報を測定するために開発されたもので、人体の健康状態や様々な分野で製品の安全性への評価や選択がなされています。

◆LFAによる脳神経系の計測例（複数）◆

